

事業番号	06 01 02	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	環境保全研究所費			担当課	部局	環境部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・局・室	環境政策課		
	施策の総合的展開	3-2	豊かな自然環境の保全	E-mail	kankyo@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針			実施期間	H7 ~		
	施策展開	3	県民参加による環境保全				

1 事業の概要

目指す姿	・環境保全に関する試験検査、調査研究、情報の収集及び提供の推進					
現状（予算編成時）	<ul style="list-style-type: none"> ・安茂里庁舎における環境の保全、廃棄物の適正処理、感染症や食中毒、食品の安全性等に関する試験検査及び調査研究 ・飯綱庁舎における自然環境の保全・保護、地球温暖化対策等の調査研究 ・環境放射能の継続モニタリング調査の実施及び水道水、食品、廃棄物等の放射性物質検査 					
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 大気汚染防止法、水質汚濁防止法、食品衛生法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、長野県環境基本条例など				
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）					
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全等に関する研究数 29件（H27末の見込みを基に算出。） ・公開講座、セミナー及びシンポジウム件数 26件（H27末の見込みを基に算出。） ・外部評価委員による研究課題の評価について、「概ね適切である」以上の評価を目指す。 					
	② 事業内容 （単位：千円）					
	項目	実施方法	H28事業実績		H29	
				H28 （当初）	H28 （決算）	H29 （当初）
	環境保全研究所管理費	直接委託	・安茂里庁舎、飯綱庁舎の管理運営等	71,815	69,187	50,962
	環境保全研究所研究等事業費	直接委託	<ul style="list-style-type: none"> ・行政検査、一般依頼検査の実施（H28年度検査件数は算定中） ・環境保全等に関する調査研究 ・放射能調査 ・モニタリングポスト保守点検費用 	36,410	24,805	25,631
			合計	108,225	93,992	76,593

事業コスト	区分（単位：千円）	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越	0	0		項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
	当初予算	98,818	108,225	76,593				目標	成果		達成状況
	補正予算	0	-10,823		環境保全等に関する研究数	28件	29件	29件	24件	未達成	24件
	合計(A)	98,818	97,402	76,593	公開講座、セミナー及びシンポジウム件数	26件	26件	26件	27件	達成	27件
	一般財源	75,528	78,334	60,453	外部評価、「概ね適切である」以上の評価の割合	100%	100%	100%	100%	達成	100%
	県債	8,000	4,000								
	国庫支出金	10,569	13,530	11,393							
	その他	4,721	1,538	4,747							
	決算額(B)	87,919	93,992								
概算人件費	職員数(人)	59.00	59.00	59.00							
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	488,284	466,926	466,926							
		587,102	564,328	543,519							

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策等の環境保全に関する研究及び感染症や食中毒、食品の安全性等に関する保健衛生分野の研究を計画的に実施し、発表会等で成果として公表した。研究数については、新規研究の構築が間に合わなかったことや前年度までに終了した研究が多かったことにより目標達成には至らなかった。 ・公開講座、セミナー及びシンポジウムについては、自然ふれあい講座、親子環境講座、サイエンスカフェ等を計画的に開催することができ、目標を達成することができた。これにより、環境保全等に関する情報を広く県民に提供することができた。 ・外部評価委員による研究課題の評価については、全ての課題で「適切である」の評価が得られ、目標を達成できた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 <ul style="list-style-type: none"> ・行政施策を科学的、技術的にバックアップするため、湖沼等水質の保全、大気汚染、温暖化対策、生物多様性の保全、感染症予防、食品の安全・安心等に関する調査研究を推進する。また、引続き、長野県科学振興会などの外部資金の獲得にも努める。 ・公開講座、セミナー及びシンポジウムについては、サイエンスカフェ等の対話型の広報活動等を継続することにより、県の環境保全及び保健衛生の向上に関する情報をさらに広く提供する。 ・調査研究については、真に県民益となることを念頭に推進し、外部評価委員から高い評価が得られるよう努める。
--------------------	--